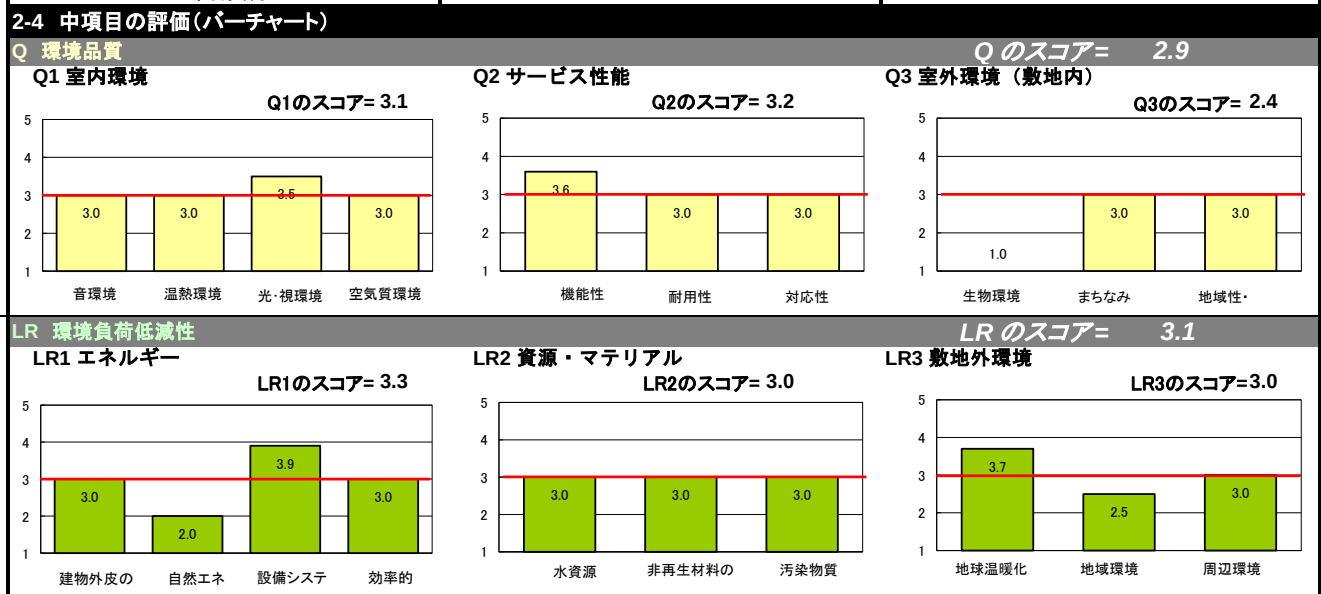
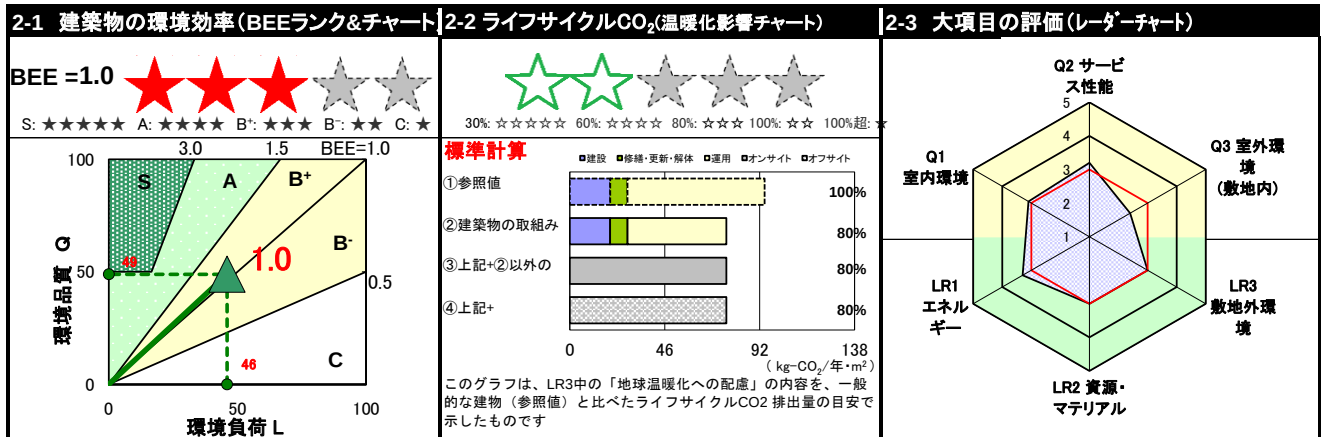
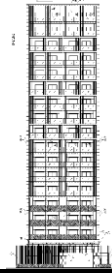


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)比治山町ビル 新築工事	階数	地上17階
建設地	広島県広島市南区比治山920番地1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、都市計画区域	平均居住人員	64 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 竣工	評価の実施日	2025年1月18日
敷地面積	411 m ²	作成者	的場 浩三
建築面積	206 m ²	確認日	2025年1月27日
延床面積	2,925 m ²	確認者	鷹木 満哉



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.0		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 1.8	スコア = 3.0
設計の計画段階に配慮した事項 // 【BEI】 【BEIm】 = 0.91 // 材料使用量の削減: コンクリート強度: Fc=36、鉄筋強度: F=390使用 躯体材料以外のリサイクル材の使用: グリーン購入法特定調達品 断熱材 押出法ポリスチレンフォーム/ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物の80%である。	設計の計画段階に配慮した事項 給水管:塩ビライニング鋼管 排水管、雨水管、通気管:塩化ビニル管 /	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される